



エリアサポートモデル校の取組から

エリアサポートモデル校は、発達障害等を中心とした実践的研究を行い、その取組や成果等を広く発信することで、特別支援教育の一層の推進を図ることを目的としています。

今年度、東吾妻町立原町小学校がモデル校となり、一年間、研究を進めてきました。主な取組と先生方の意識の変化を中心に紹介します。

主な取組

学校サポート

通常学級における配慮を要する児童への支援の仕方について、サポーター（指導主事と専門アドバイザー）が指導。

- ①授業参観
- ②担任との面談
- ③手立ての立案
- ④実践
- ⑤1ヶ月後の変容から手立ての見直し

【サポーターからの主な助言】

- ・「静かにしなさい」ではなく、「話を聞いてください」など、「禁止」ではなく、「こうやってほしい」という意思を伝えていくことが大切。
- ・トラブルの多い子は、それだけ人と関わっているということ。成長の様子を周りの子へ伝えていくことが必要。
- ・「ちょっと待っててね」ではなく、「～さんの次に行くからね」と具体的に伝える。
- ・授業や学級経営の中で、「緩急」をつける。しめる部分とゆるめる部分（逃げ道）の両方を用意しておく。
- ・何回も言えば伝わるのではなく、逆に分からなくなる。ゆっくり1回言う。また、ポイントは板書する。



教員研修

講演会

「子どものこころの発達に寄り添う」
和久田 学 先生

【参加者の主な感想】

- ・成功体験が増やせる支援方法を考えて、日々の保育をしていきたい。
- ・発達障害という言葉をはとくりに使ってきたが、それぞれに対処の仕方があることを知りました。
- ・自閉スペクトラム（ASD）症児童の教育には保護因子が何であるかを的確に捉え、自己肯定感を高めてあげることが大切だとわかりました。



7市町村より
150名以上が参加

保護者研修

「子育て講話」

中曽根アドバイザー

【参加者の主な感想】

- ・子育ては自分が思うようにはいかない！それでいいんだと思いました。子どもを中心に考えてうまくいかなくても励まし、応援し、一緒に楽しもうと思いました。
- ・自分の考えを押しつけるのではなく、一呼吸してから息子の気持ちや考えを聞くことの大切さを考えさせられました。



低・中・高学年
ごとに実施

意識の変化

「小・中学校等における発達障害のある子どもへの教科教育等の支援に関する研究」（特別支援教育総合研究所 平成22年3月）の中に紹介されている授業改善についての「授業の自己チェック票」を利用し、6月と2月に調査をしました。

【変化の大きかった5項目（全36項目）】

質問項目	6月	2月
○視聴覚機器や教具を積極的に活用している。	1.60	2.42
○個々の子どもの特性に応じた学習の目標やねらいになっている。	1.80	2.50
○測定や観察が可能な具体的な目標やねらいになっている。	1.70	2.33
○習熟度や学習のねらいなど、目的を明確にして学習形態を変えている。	1.80	2.42
○ノートをとる箇所が明確に示されている。	1.85	2.33

（3：できている 2：少しはできる 1：あまりできていない）



上記の結果からも分かるように授業づくりに対する先生方の意識には大きな変化が生じています。変化のあった質問項目を見ると「特性に応じた」「具体的な」「明確に」などがキーワードとして挙げられます。また、可視化もポイントの1つです。今後の授業づくりの参考にしてください。

まとめから

1年間を通して2人のサポーターが20回以上学校を訪問し、主に「発達障害等のある子どもの理解と支援 こんなとき、そんなとき、『パッケージ』を活用しましょう」（群馬県教育委員会 平成28年4月 ※下記参照）を活用しながら様々な取組を支援してきました。このような継続した取組から得られたことがたくさんありました。

【先生方のまとめから】

- ・児童一人一人を見取ることの大切さを痛感した。また、自分の指導の優先順位や意識の変化を感じた。（結果でなく、取組の過程を褒めること・認めることなど）
- ・よくトラブルを起こす児童への指導方法として、その子だけの支援に留まらず、その子を取り巻く友人や家庭に働きかけることが解決につながることも分かった。
- ・児童がどのようなところでつまずき、どのような苦勞をしているのかなど、表情やしぐさ、発言を通して児童理解をすることの大切さに気付くことができた。
- ・「わかる・できる」授業づくりを目指し、配慮を要する児童にとって「ないと困る」という視点で様々な支援を考え、実践してきた結果、他の児童にとっても「有効な支援」となることを実感できた。



「発達障害等のある子どもの理解と支援 こんなとき、そんなとき、『パッケージ』を活用しましょう」

ここには4つのパッケージが紹介されています。ダウンロードすればすぐに使えますので、ご活用ください。Web 検索機能で右の言葉を入力するとすぐに探せます。

1 学校サポートパッケージ

2 教員研修パッケージ

3 児童生徒の障害理解教育パッケージ

4 保護者向け研修・講演会パッケージ